

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

I 適切な管理運営の確保

1 施設の設置目的、基本方針等

施設の設置目的及び管理の基本方針の達成に向けた取組がなされているか。

自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆ 施設の設置目的の理解度 施設常駐職員等を対象に、市農村環境改善施設条例及び同条例施行規則のほか、指定管理書についての研修会を年度当初に実施し、施設の設置目的等の理解度を深めた。 ◆ 施設の設置目的の達成度 登録団体及び一般市民の施設利用に際し、施設利用目的に沿った運営を行った。また、自主事業を行うことで、設置目的の達成に寄与することができた。 ◆ 基本方針の明文化、◆ 基本方針の周知状況 施設の円滑な運営と利用者サービス向上を目指し、施設常駐職員等を対象に、基本方針について研修会及びOJT教育を通じて周知を行った。 ◆ 平等利用の確保 憲法14条及び地方自治法244条に基づき、施設利用者に対して、不当な差別的取扱いを行わず、平等で安全な施設運営を実施した。また、営利目的等の不適切使用に該当すると思われる利用の問い合わせがあった場合は、市担当者と協議を行う等の対応を行った。	・施設の設置目的の理解度 ・施設の設置目的の達成度 ・基本方針の明文化 ・基本方針の周知状況 ・平等利用の確保
最終評価	所見	
A	施設常駐職員を対象に、研修会を開催し、施設の設置目的の理解を深めるとともに、施設利用目的に沿った運営や自主事業に取り組んでいる。 また、管理の基本方針について、研修会及びOJT教育を通じ、職員に対して十分な周知が図られている。 平等利用の確保に向けては、法令を遵守し、公の施設として平等かつ公平な施設利用の確保に努めた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

2 適切な管理の履行		
開館時間、個人情報の管理、定期報告等は、仕様どおり遵守されているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆ <u>供用時間、開館日の遵守</u> 供用時間、開館日については、市農村環境改善施設条例を遵守して対応した。 ◆ <u>供用時間等を変更した際の利用者への周知、市への承認</u> 令和7年度は供用時間の変更及び供用日の変更は行っていない。 ◆ <u>個人情報の適切な管理</u> 個人情報の保護に関する法律に基づいた管理を行った。紙媒体の個人情報は、部外者の目に触れないように厳格に保管し、必要に応じてシュレッダーで粉碎し廃棄処分した。電子媒体の個人情報は、ID・PWを設定し、不正アクセスや個人情報漏洩等の事故を防止した。 ◆ <u>適切な定期報告</u> 月例報告書、四半毎の進捗状況報告書、前年度分の事業報告書を、協定書で定められた内容で作成し、遅滞なく報告した。また、地方公共団体実施計画策定・管理等支援システム（LAPSS）の入力についても遅滞なく行った。	・ 供用時間、開館日の遵守 ・ 供用時間等を変更した際の利用者への周知、市への承認 ・ 個人情報の適切な管理 ・ 適切な定期報告
最終評価	所見	
A	供用時間、開館日の変更はなく、市農村環境改善施設条例に基づいた時間内での供用がなされている。 また、個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づいた適切な管理を行っている。 定期報告についても、時期・内容ともに、適切に行われた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

3 職員の状況 職員の勤務形態、人員体制は適切か、また、職員による利用者への接遇は良好か。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆ 計画に沿った人員配置、役割分担 事業計画に基づいた人員配置と役割分担を実施し、支障なく業務を執行した。	・計画に沿った人員配置、役割分担 ・超過勤務の有無 ・職員の接遇、服装
	◆ 超過勤務の有無 緊急時の時間外勤務はあったが、労働基準法を遵守した適正な労務管理を行った。	
最終評価	所見	
A	事業計画に沿った人員配置・役割分担が行われており、超過勤務についても、緊急時の対応があったものの、いずれも労働基準法を遵守した適正な労務管理が行われた。 接遇・服装については、職員が統一した衣類を着用することで、利用者が施設管理者であることを認識しやすくするとともに、職員自身の意識向上を促すなど、利用者サービスの充実に努めた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

Ⅱ 利用者サービスの維持向上

1 利用状況

利用の実績、施設の稼働率に向上が見られるか。あるいは減少した場合は合理的な理由があるか。

自己評価	指定管理者コメント	評価の指標																																																				
A	◆ 利用者数 <table><tr><th>施設名</th><th>R 7 年度</th><th>R 6 年度</th><th>前年度比</th></tr><tr><td>会議室</td><td>3, 228人</td><td>3, 733人</td><td>▲505人</td></tr><tr><td>農事相談室</td><td>1, 954人</td><td>1, 709人</td><td>245人</td></tr><tr><td>生活改善研修室</td><td>2, 889人</td><td>2, 338人</td><td>551人</td></tr><tr><td>多目的ホール</td><td>4, 678人</td><td>5, 656人</td><td>▲978人</td></tr><tr><td>ゲートボール場</td><td>781人</td><td>912人</td><td>▲131人</td></tr><tr><td>合計</td><td>13, 530人</td><td>14, 348人</td><td>▲818人</td></tr></table> 利用者数は前年度より818人減少したが、令和6年度は、衆議院議員選挙の投票会場となったことによるものと考えられる。 ◆ 稼働率 <table><tr><th>施設名</th><th>R 7 年度</th><th>R 6 年度</th><th>前年度比</th></tr><tr><td>会議室</td><td>20.46%</td><td>18.51%</td><td>1.95%</td></tr><tr><td>農事相談室</td><td>23.25%</td><td>19.88%</td><td>3.36%</td></tr><tr><td>生活改善研修室</td><td>21.08%</td><td>18.43%</td><td>2.66%</td></tr><tr><td>多目的ホール</td><td>31.80%</td><td>31.90%</td><td>▲0.11%</td></tr><tr><td>館内計</td><td>24.15%</td><td>22.18%</td><td>1.97%</td></tr></table>	施設名	R 7 年度	R 6 年度	前年度比	会議室	3, 228人	3, 733人	▲505人	農事相談室	1, 954人	1, 709人	245人	生活改善研修室	2, 889人	2, 338人	551人	多目的ホール	4, 678人	5, 656人	▲978人	ゲートボール場	781人	912人	▲131人	合計	13, 530人	14, 348人	▲818人	施設名	R 7 年度	R 6 年度	前年度比	会議室	20.46%	18.51%	1.95%	農事相談室	23.25%	19.88%	3.36%	生活改善研修室	21.08%	18.43%	2.66%	多目的ホール	31.80%	31.90%	▲0.11%	館内計	24.15%	22.18%	1.97%	・利用者数 ・稼働率
	施設名	R 7 年度	R 6 年度	前年度比																																																		
	会議室	3, 228人	3, 733人	▲505人																																																		
	農事相談室	1, 954人	1, 709人	245人																																																		
	生活改善研修室	2, 889人	2, 338人	551人																																																		
	多目的ホール	4, 678人	5, 656人	▲978人																																																		
	ゲートボール場	781人	912人	▲131人																																																		
	合計	13, 530人	14, 348人	▲818人																																																		
	施設名	R 7 年度	R 6 年度	前年度比																																																		
	会議室	20.46%	18.51%	1.95%																																																		
農事相談室	23.25%	19.88%	3.36%																																																			
生活改善研修室	21.08%	18.43%	2.66%																																																			
多目的ホール	31.80%	31.90%	▲0.11%																																																			
館内計	24.15%	22.18%	1.97%																																																			
最終評価	所見																																																					
A	令和7年度の利用者数は、前年度から818人減少した。一方、令和7年度から施設に職員が常駐し、利便性が向上したことで、稼働率の増加につながっている。																																																					

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

2 サービス内容の向上														
利用者サービスの向上のための取組を行っているか。														
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標												
A	◆ 受付窓口（掲示板等）の状況 窓口では利用者に対して笑顔であいさつをし、問い合わせに対しても親切で丁寧な対応を行った。 掲示物については、定期的に整理整頓をし適正な掲示を行った。 ◆ 利便性向上の取組 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取 組</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホワイトボードへの掲示</td> <td>当日の利用団体名及び利用時間を表示した。</td> </tr> <tr> <td>フリースペースの開放</td> <td>予約の有無に関わらず、希望があればロビーやトイレ等を誰でも使用できるようにした。</td> </tr> <tr> <td>プロジェクターなど既存備品</td> <td>ニーズに応じて無料で貸し出した。</td> </tr> <tr> <td>コピー・FAX</td> <td>有料で対応している。</td> </tr> <tr> <td>設備・備品</td> <td>トイレのウォシュレット化・多目的ホールへ扇風機設置・玄関ポーチへベンチ設置などの整備を行った。</td> </tr> </tbody> </table> ◆ 見学への対応 事前問い合わせの有無に関わらず、随時対応を行った。 ◆ 電話対応 施設管理者として自覚を持って対応をし、判断が難しい場合は市と情報共有や協議を行い、適切に対応した。 ◆ 提案内容の履行の状況 施設の適正な運営管理を行うとともに、提案通り、自主事業の「囲碁教室」を実施することで農村環境の改善に寄与したと考えられる。 ◆ 利用者サービス向上のための柔軟な供用の実施 利用日当日の使用料の支払いを許可しており、利用者サービス向上に努めている。	取 組	内 容	ホワイトボードへの掲示	当日の利用団体名及び利用時間を表示した。	フリースペースの開放	予約の有無に関わらず、希望があればロビーやトイレ等を誰でも使用できるようにした。	プロジェクターなど既存備品	ニーズに応じて無料で貸し出した。	コピー・FAX	有料で対応している。	設備・備品	トイレのウォシュレット化・多目的ホールへ扇風機設置・玄関ポーチへベンチ設置などの整備を行った。	・受付窓口（掲示板等）の状況 ・利便性向上の取組 ・見学への対応 ・電話対応 ・提案内容の履行の状況 ・利用者サービス向上のための柔軟な供用の実施
	取 組	内 容												
ホワイトボードへの掲示	当日の利用団体名及び利用時間を表示した。													
フリースペースの開放	予約の有無に関わらず、希望があればロビーやトイレ等を誰でも使用できるようにした。													
プロジェクターなど既存備品	ニーズに応じて無料で貸し出した。													
コピー・FAX	有料で対応している。													
設備・備品	トイレのウォシュレット化・多目的ホールへ扇風機設置・玄関ポーチへベンチ設置などの整備を行った。													
最終評価	所見													
S	利用者に対して、窓口や電話など、親切で丁寧な対応を行うとともに、受付窓口は常に整理されており、施設の利用案内などを利用者によりわかりやすいように掲示するなど、利用者サービスの向上に努めた。 また、フリースペースの開放や、トイレのウォシュレット化・多目的ホールへの扇風機の設置等、利用者ニーズに応じた対応を行っており、指定管理者の創意工夫により、利便性のさらなる向上が図られている。													

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

3 利用者からの意見抽出、苦情等の処理 利用者が意見を述べやすい環境を整備しているか、また速やかに対応できる体制を整備しているか。											
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標									
A	◆ 意見受付窓口等の設置 <table border="1"> <tr> <th>意見の収集手段</th> <th>内 容</th> <th>回数</th> </tr> <tr> <td>窓口聞き取り</td> <td>受付窓口にて利用者への聞き取りを実施</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>アンケート調査</td> <td>5月1日～6月30日にかけてアンケート調査を実施</td> <td>年1回</td> </tr> </table> 利用者とコミュニケーションをとりながら、施設利用にあたってのニーズや意見等の把握に努めている。 ◆ 意見、苦情等の記録 苦情及び要望等が発生した際には、社内で共有をし、早急な対応が必要なものに関しては、市へ報告することとしている。また、四半期報告の際に記載を行っている。 ◆ 苦情等への対応状況 「クレーム対応の手順」として、①心情を理解する、②事実の確認を行う、③解決策の提示をする、④お詫びと感謝を伝えるの4点を勉強会や面談時のほか、日々の業務の中でも周知を徹底している。また、苦情等が発生した場合は、社内で協議するとともに、判断が難しいものについては市と協議することとしている。	意見の収集手段	内 容	回数	窓口聞き取り	受付窓口にて利用者への聞き取りを実施	常時	アンケート調査	5月1日～6月30日にかけてアンケート調査を実施	年1回	・意見受付窓口等の設置 ・意見、苦情等の記録 ・苦情等への対応状況
	意見の収集手段	内 容	回数								
	窓口聞き取り	受付窓口にて利用者への聞き取りを実施	常時								
	アンケート調査	5月1日～6月30日にかけてアンケート調査を実施	年1回								
	最終評価	所見									
A	アンケートの実施や、利用者との積極的なコミュニケーションを図ることで、利用者のニーズや意見の把握に努めた。 「クレーム対応の手順」を、勉強会や個人面談などを通して周知するとともに、苦情があった場合には、即時市に共有する体制が整えられている。										

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

4 広報、PR活動		
積極的な広報、PR活動を行っているか。また、その内容は適切か。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆ <u>広報誌、PR誌等の作成</u> 5月1日～6月30日にかけて行ったアンケート調査時に、「指定管理者あいさつ」として文書の配布を行った。 自主事業の囲碁教室開催時には、市政だよりや新聞各社への記事掲載、FM 愛'S（エフエム会津）を活用して参加者募集の案内を行った。 ◆ <u>チラシ等の作成</u> 自主事業「囲碁教室」のチラシを作成し、市内学校施設及び近隣のコンビニエンスストアや量販店等にて配布を行った。 ◆ <u>ホームページによるPR</u> 現在、ホームページによるPRは行っていない。 ◆ <u>情報提供のパンフレット</u> 河東農村環境改善センターたよりの作成準備を進めており、令和8年度から配布を行う予定。	・広報誌、PR誌等の作成 ・チラシ等の作成 ・ホームページによるPR ・情報提供のパンフレット
最終評価	所見	
A	自主事業開催時には、市政だよりやラジオ等を活用した周知を行った。また、自主事業の実施にあたっては、市内学校施設及び近隣のコンビニエンスストア等でチラシの配布を行い、積極的な広報活動に努めた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

5 自主事業の実施状況 計画した事業が適切に実施されているか。また、内容は効果的なものであったか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
S	◆ <u>計画事業の実施の有無</u> 令和8年3月29日(日)に「囲碁教室」を実施した。 ◆ <u>事業の効果</u> 講師4名、参加者13名での開催となった。囲碁に触れる良い機会となり、講師側、参加者側からも好評であった。 ◆ <u>ニーズの把握、反映</u> 自主事業を計画するにあたり、スポーツ・教養・文化のカテゴリーで、会津若松市で体験する機会が少ない分野・種目を調査し、社内で協議した上で、本年度は「囲碁教室」を選定した。 ◆ <u>事業の改善の取組</u> 自主事業自体は、参加者に大変好評であった。次年度の改善として、低年齢層の参加が少なかったことから、幅広い年代の参加者を募る為に募集方法等を工夫したい。	・計画事業の実施の有無 ・事業の効果 ・ニーズの把握、反映 ・事業の改善の取組
最終評価	所見	
S	自主事業については、市内で体験する機会が少ない分野・種目を調査したうえで「囲碁教室」を企画し、実施にあたっては講師として「日本棋院会」を招へいするなど、意欲的に取り組んでいた。 講師及び参加者に大変好評であったことから、今後も利用者ニーズを踏まえ、利用者満足度の高い自主事業の実施を期待する。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

Ⅲ 維持管理										
1 施設、備品等の適切な維持管理										
施設、備品等が適切に管理され、良好な状態に保たれているか。										
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標								
A	◆ 施設の保守点検の実施の有無 市農村環境改善センター指定管理仕様書に基づき、当社直営又は第三者委託により適正に実施した。業務の一部を委託する第三者については、暴力団等を排除することに加え、市内事業者を優先するよう配慮した。 ◆ 施設の損傷の有無 定期的に見回り点検を実施しており、利用者との積極的なコミュニケーションを図ることにより、修繕箇所の早期発見に努め、経年劣化による損傷箇所は、速やかに修理を行い、市へ報告している。 ◆ 備品台帳の整備状況 市から引き継いだ台帳を配置し、廃棄・更新等といった変更があった場合は速やかに報告・記録するよう体制を整えている。 ◆ 備品の損傷の有無 令和7年度は、備品の損傷はなかった。 ◆ 施設、備品の修繕の実施状況 経年劣化による改修があったが、利用者に対する影響を最小限に抑える為、速やかに改修を行った。主な改修箇所は次のとおり。 <table border="1"> <tr> <th>改修箇所</th> <th>主な改修内容</th> </tr> <tr> <td>生活改善室・トイレ・廊下</td> <td>電気ブレーカー修理</td> </tr> <tr> <td>生活改善室</td> <td>蛍光灯修理</td> </tr> <tr> <td>センター内</td> <td>消火器4本交換</td> </tr> </table>	改修箇所	主な改修内容	生活改善室・トイレ・廊下	電気ブレーカー修理	生活改善室	蛍光灯修理	センター内	消火器4本交換	・施設の保守点検の実施の有無 ・施設の損傷の有無 ・備品台帳の整備状況 ・備品の損傷の有無 ・施設、備品の修繕の実施状況
	改修箇所	主な改修内容								
生活改善室・トイレ・廊下	電気ブレーカー修理									
生活改善室	蛍光灯修理									
センター内	消火器4本交換									
最終評価	所見									
A	施設の保守点検については、仕様書に基づき適切に実施された。施設・設備の経年劣化が見受けられる中、定期的な見回り点検により、修繕箇所の早期発見に努めるとともに、利用者への影響を最小限に抑え、安全・快適に利用できるよう、ブレーカーの修理や蛍光灯の修理等、施設・設備の良好な状態の維持に努めた。									

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

2 清掃業務		
清掃が適切に行われ、利用者が快適に利用できる環境が維持されているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
S	◆ <u>清掃業務の実施状況</u> 市農村環境改善センター指定管理仕様書に基づき日常清掃及び定期清掃を行った。また、当社が清掃業者であることから、定期清掃は専門作業員が行い、日常清掃は清掃の指導を受けた施設常駐職員が毎日行うことにより、常に良好な衛生環境・良好な景観の維持が可能となっている。 ◆ <u>消耗品の補充</u> 適時補充を行い、快適な施設利用ができるよう努めた。 ◆ <u>除草等の状況</u> ゲートボール場内の除草剤散布は年2回、施設内の除草作業については年3回、安全管理に注意を払いながら行っている。 ◆ <u>庭園等の整備状況</u> 駐車場の桜の木がせり出していることから、機会を見て剪定を行う予定。	・清掃業務の実施状況 ・消耗品の補充 ・除草等の状況 ・庭園等の整備状況
最終評価	所見	
S	施設の清掃業務については、仕様書に基づき適切に実施するとともに、指定管理者が清掃業者である強みを活かし、定期清掃を専門作業員が行い、日常清掃は清掃の指導を受けた施設常駐職員が毎日行うことにより、常に良好な衛生環境の維持及び環境美化に努めた。 また、消耗品の補充や、除草作業についても、適時・適切に実施し、利用者が快適に使用できる環境維持に努めた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

3 施設の安全性の確保 利用者にとって安心、安全な環境が維持されているか。また、事故、災害発生時の危機管理体制は適切に構築されているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆ 警備体制の整備 閉館中は、警備会社への委託を行い、マグネット式と人感式センサーによる機械警備を実施した。 ◆ 巡回等の実施状況 職員による巡回を定期的に行っている。 ◆ 鍵の保管状況 鍵は専用のボックスに整理し保管をした。 ◆ 施錠の体制 利用終了後の退館時に施設の施錠、確認を適切に行った。また、施錠漏れがないように、業務日誌内のチェック表を活用して確認を行った。 ◆ 非常時対応マニュアルの整備 消防法・防火管理規定に基づき、防火計画を作成し、11月と3月に消防訓練を行った。災害時には施設が避難所となることを職員へ周知した。 ◆ 非常時連絡体制の整備、周知 緊急連絡先一覧を作成し、事務所内に掲示をして周知を行った。また、職員の個人面談時及び防火訓練時にも改めて周知を行った。 ◆ 利用者への注意喚起 駐車場での事故防止、熱中症予防、落雪、盗難防止を呼び掛ける掲示を行うとともに、注意喚起を行った。 ◆ 研修、訓練の実施状況 危機管理規程について、非常時の消防設備操作研修を含めた消防訓練の実施により、非常時に迅速かつ的確な対応が行える体制づくりに努めた。	・警備体制の整備 ・巡回等の実施状況 ・鍵の保管状況 ・施錠の体制 ・非常時対応マニュアルの整備 ・非常時連絡体制の整備、周知 ・利用者への注意喚起 ・研修、訓練の実施状況
最終評価	所見	
A	開館中の職員による巡回や、閉館中の機械警備により施設の警備体制は確立されている。 鍵は専用のボックスに入れて厳重に管理をしており、退館時の施錠は業務日誌内のチェック表を用いて適切に行っている。 また、非常時の緊急連絡先一覧表を事務所内に掲示するなど、職員へ適切に周知がされた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

IV 収支の状況		
1 財務状況		
管理運営にあたり、適切な経理を行っているか。また、財務状況に問題は無いかな。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆ 経理書類等の整備状況 施設専用の通帳、出納簿、売上管理表等を作成し、適切に管理・保管をしている。 ◆ 経理担当の設置の有無 総務課に経理担当者を置き、施設の責任者及び専務取締役が、適正に管理しているか確認を行っている。 ◆ 伝票の保管状況 伝票を種別に整理し、専用のファイルに保管をしている。 ◆ 通帳、印鑑の保管状況 施設専用の通帳と印鑑は、別の金庫にて厳重に保管をしている。 ◆ 不明瞭な支出の有無 不明瞭な支出はなかった。 ◆ 予算、決算の乖離 収入の部は、予算比で101.13% 支出の部は、予算比で102.44% となり、大幅な乖離はなかった。 ◆ 外部監査の実施 外部監査は実施していないが、税理士による指導を受けている。 ◆ 収支のバランス 国際情勢の影響により電気料金が大幅に上昇したものの、赤字には至らなかった。	・経理書類等の整備状況 ・経理担当の設置の有無 ・伝票の保管状況 ・通帳、印鑑の保管状況 ・不明瞭な支出の有無 ・予算、決算の乖離 ・外部監査の実施 ・収支のバランス
最終評価	所見	
A	施設専用の通帳、出納簿、売上管理表等を作成し、経理担当者を設置するとともに、施設責任者等が確認することで、適切な事務処理に努められている。 通帳と印鑑も、別々の金庫で厳重に保管されており、適切に管理された。 国際情勢の影響により、電気料金が大幅に上昇したものの、支出の超過には至らず、適正な収支バランスに努めた。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

2 利用料金の収入実績 収入の実績は伸びがみられるか。また、収入確保の方策は適切か。																				
自己評価		指定管理者コメント		評価の指標																
A	◆ 収入実績、◆ 収入の伸び率 <table border="1"> <tr> <th>収入</th> <th>R 7 年度</th> <th>R 6 年度</th> <th>前年度比</th> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>539,790</td> <td>528,110</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>キャンセル等による還付返金</td> <td>▲3,920</td> <td>▲220</td> <td>781.8%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>535,870</td> <td>527,890</td> <td>1.5%</td> </tr> </table>		収入	R 7 年度	R 6 年度	前年度比	利用料	539,790	528,110	2.2%	キャンセル等による還付返金	▲3,920	▲220	781.8%	計	535,870	527,890	1.5%	・収入実績 ・収入の伸び率 ・収入確保に向けた取組	
	収入	R 7 年度	R 6 年度	前年度比																
	利用料	539,790	528,110	2.2%																
	キャンセル等による還付返金	▲3,920	▲220	781.8%																
	計	535,870	527,890	1.5%																
利用料収入は前年度比で7,980円の増となった。なお、減免額は1,315,680円となり、利用料総額に対する減免額の割合は、70.9%となった。																				
◆ 収入確保に向けた取組 当社関係団体及び業者に広く利用促進を呼びかけた。また、窓口にて施設利用当日の利用料の支払いを可能とし、利便性を高めることで利用促進を図った。																				
最終評価		所見																		
A	収入実績は前年度より 7,980 円増加している。 利用団体のほとんどが減免対象となる登録団体であるが、施設利用日当日の利用料の支払いを可能にするなど、利用料金収入の確保に努めた。																			
3 経費の節減 適切な経費の節減に向けた取組が行われたか。また、効果が現れているか。																				
自己評価		指定管理者コメント		評価の指標																
A	◆ 取組の有無、◆ 取組の効果 当社が清掃業者である強みを活かし、施設の清掃は当社で行い、業務委託費を抑えることができた。 また、利用者に対して節電及び節水の呼びかけを行ったり、洗面所の電球を LED に交換することによって、省エネルギー化に努めた。		・取組の有無 ・取組の効果																	
最終評価		所見																		
A	指定管理者が清掃業者である強みを活かし、清掃業務の委託費を抑えることができた。 また、利用者に対して節電及び節水の呼びかけを行うなど、省エネルギー化に取り組んでいる。																			

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

V その他		
1 市、関係機関及び地域との連携等 市、関係機関、地域との連携体制が適切に構築されているか。また、その他前記までの評価に合致しなかった取組について評価を行う。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	◆その他 施設の運営上必要な事項について、市と情報共有を行いながら、連携をして運営を行うことができた。 当社施設責任者が「防火管理者」「危険物取扱者乙4種」の資格を取得し、防災計画・訓練等を通じて消防署と連携をして安全管理に努めた。また、当社が警備業者であることから、警察との連携も取りながら、業務を遂行することができた。 施設に職員が常駐することにより、施設が市民の交流の場として認知され、関心を得られることができたと考えられる。 ◆人材育成 職員に対して、研修会及び個人面談を通じて、1人1人のスキルアップを図り、事務所内でも連絡メモを用いて、業務の情報共有を行っている。	・その他 ・特記事項
最終評価	所見	
A	施設の管理運営に関しては、市への事前協議が確실히行われ、担当者間でも電話やメール等で連絡を取り合うなど、適切な連携を図っていた。 施設管理責任者が「防火管理者」「危険物取扱者乙4種」の資格を取得し、施設の安全性の向上に努めた。 また、研修会及び個人面談等の人材育成の取組を実施しており、職員の意欲向上、利用者サービスの向上を図った。	

指定管理者評価シート

R7(河東農村環境改善センター)

VI 総合評価		
1 総合評価 指定管理者として適切な管理運営を行っており、利用者サービスの向上や効率化が十分に図られているか。		
自己評価	指定管理者コメント	評価の指標
A	指定管理初年度の令和7年度は、市農村環境改善施設条例及び指定管理仕様書に基づき、市と連携を図りながら、施設目的に沿った管理運営を行った。特に、施設の安全性及び利便性を重視し、トイレのウォシュレット化や、消火器の交換等、施設利用者が安全で快適に利用できるような運営に努めた。年度内に大きな事件・事故は発生していない。 自主事業については、囲碁教室を開催し、利用者のニーズを把握しながら、参加者の満足度が高い事業になるように努めた。 施設の維持・保全については、自社の強みを活かし、清掃や修繕等を直営で行うことでコストを抑えつつ利用者が快適に利用できる環境を整備した。	
最終評価	所見	
A	施設の設置目的等について十分に理解するとともに、市民ニーズを踏まえた効果的な自主事業を開催するなど、目的達成の為に適切な運営が行われている。 また、職員の研修にも積極的に取り組み、基本方針を周知することで、公の施設として公正平等な利用が実践できていた。 年度内に大きな事故・苦情等が発生していないことから、毎日の見回り点検や迅速な修繕等だけでなく、利用者との積極的なコミュニケーションを重視した運営が評価されたものと考えられる。 利便性の向上についても、トイレのウォシュレット化や多目的ホールへ扇風機を設置するなど、利用者ニーズを把握し、サービス向上に向けて取り組んでいた。 特に、清掃業務について指定管理者が清掃会社である強みを活かし、施設在中職員に対し、清掃の指導をするなど、常に利用者に対し、清潔で快適な施設を提供できるよう努めていた。 次年度以降も引き続き、より良い維持管理及び運営に努めてもらいたい。	